

# はびねすマキノ通信 「介護職としての喜び」

ケアワーカー 石田 雅子

令和の時代が幕を開け、2020年東京オリンピック、2025年大阪万博の開催が決定となり明るいニュースが続く一方、日本が抱えている大きな問題「2025年問題」に直面するの、後5年と迫って来ています。

団塊の世代（1947～1949年生まれ）が2025年頃までに後期高齢者に達することにより、介護・医療費など社会保障費の急増が懸念されています。これが「2025年問題」です。国民の4人に1人が後期高齢者になることから若い世代が高齢者を支えきれなくなります。そして2025年には全国で約43万人が介護難民になるとの予測が発表されています。介護難民とは介護が必要な状態であるにも関わらず自宅でも病院でも介護施設でも介護を受けることができない人を指します。

そのため高齢者が住み慣れた地域で「可能な限りその有する能力に応じて自立した日常生活を送れるようにすること」そして「積極的に社会参加し近隣同士支え合うこと」が重要となってきます。

介護サービスのうち、小規模多機能型居宅介護とは利用者様の選択に応じて「通い」を中心とし短期間の「宿泊」や自宅への「訪問」を組み合わせた日常生活上の支援を行うサービスです。自宅で安心して暮らしているように創設されました。ケアプランの作成からサービス提供まで同じ事業所が行うので利用者様とスタッフ間や利用者様同士の近い関係性が築けます。そのために家庭的な雰囲気生まれ、環境の変化に敏感な高齢者にとって大きな安心感に繋がります。

では、マキノ病院の小規模多機能型居宅介護事業所「はびねすマキノ」の利用者様の様子をご紹介します。

80歳代女性Aさん、仕事一筋の働き者で地域のサロン等は嫌いな方でした。「自宅周辺で誰かが私を見張っている」という妄想があります。「自宅近くに車を停めてこつちを見て。玄関扉に鍵がかかっているのに無理に誰かが開けようとする」と話されます。そのため自宅の雨戸を閉め、寝室を真つ暗にされ隠れておられることもあり。利用当初、毎日訪問し、傾聴、共感を繰り返しました。そのうち、スタッフを信頼して下さり「一緒に行きましょう！」というお誘いに応じ、週1回の入浴に来てくださるようになりました。実はAさん宅の浴室は使用している形跡がありませんでした。しかし、関わりの中でお風呂が好きということも分かり喜んで来て下さいました。

このような関わりを継続した結果、「はびねすマキノ」では食事準備や片付け、洗濯物干し、たたみ等、主婦として頑張ってきた家事全般を担当され、生き生きとした表情になりました。認知症になっても身体が不自由になってもやりたいこと、出来る事があります。役割を持つて頼りにされる、認められることで「はびねすマキノ」がその人の居場所となり生きる希望に繋がっているのだと思えます。

80歳代男性Bさん、他の施設を利用されていましたが退所の時期が迫っているのに受け入れ先が決まらないと娘さんが相談にいられました。ご自宅は認知症の奥様と二人暮らしで

す。週3回の通い、他の日は訪問で利用されました。通いに来られても「帰りたい」と言われる事がありました。日々に慣れて来られ、ボール投げやコマ回しや歌等、得意なことを披露されました。そしてスタッフに「ありがとう」と労いの言葉もたくさんかけて下さいました。

しかし、訪問で自宅に何うと奥様は「私がするので帰ってほしい！」と大きな声を上げ家に入れてもらえない時がありました。回数を重ねるうちに顔を覚えて下さり、奥様の方から話されるようになりオムツ交換や着替えを手伝って下さいました。

数か月後、食欲が徐々に低下し、このまま自宅にいてよいのか、入院すべきなのかを考える時期になりました。「はびねすマキノ」を利用しながら「住み慣れた自宅で家族と一緒にいたい。痛いこと、苦しいことはしないでほしい」とBさんはおっしゃいました。ご家族もその思いを尊重し、在宅での看取りを希望されました。老々介護でしたが、遠方に住む息子さん2人と娘さんは週末に交替で帰省され、家事や食事介助をされました。当初は横になりながらおにぎり、パン、バナナを手を持って食べ、ストローでお茶を飲んでおられました。しかし、だんだん飲み込みに時間がかかるようになり高カロリーゼリーを介助にて提供しましたがその量も徐々に減ってこられ吐き出される事もありました。

そして、ご家族、訪問診療、訪問看護、「はびねすマキノ」が連携をとりながら最期までBさんの思いに寄り添い人生を全うされました。お亡くなりになられた後、娘様からお礼のお手紙を頂きました。「父の顔はとても穏やかで眠っているかのようでした」と記されており、Bさんの思いに寄り添い、在宅

の看取りに関わられた事を誇らしく思えました。

介護の仕事の大きな魅力は、いろいろな時代を生き抜いて来られた人生経験の豊富な利用者様の心に触れたり、その人の人生の締めくくりに関わりが持てることです。

この時期に「どう向き合うか？」は私達に与えられた大きな課題となりますが、スタッフとご家族が一丸となり話し合いを重ね、取り組んでいく過程で喜びを味わう事がたくさんあります。

このような貴重な体験を通して、私たちは人間として成長することもできます。利用者様の出会いに感謝し、介護の仕事が出来ることに誇りを持って笑顔を決めず前向きに精進していきたいと思っております。



## 新人紹介

この度、マキノ病院に入職いたしました新しいスタッフです。皆様方の温かい御支援よろしくお願いたします。



ケアワーカー 塩崎 満利子



ケアワーカー 西尾 昌広



看護師 酒 昂希

## 小児予防接種の予定（1月・2月）

|    |  |        |        |        |        |
|----|--|--------|--------|--------|--------|
|    | 混合ワクチン・麻疹風疹混合・BCG・日本脳炎・ポリオヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん・水痘・おたふくかぜ・ロタ |        |        |        |        |
|    | 受付・接種時間：13時～ 16時～16時30分                              |        |        |        |        |
| 1月 | 7日(火)<br>31日(金)                                      | 10日(金) | 17日(金) | 21日(火) | 24日(金) |
| 2月 | 4日(火)<br>28日(金)                                      | 7日(金)  | 14日(金) | 18日(火) | 21日(金) |

**マキノ病院理念** マキノ病院は、患者様中心の医療と福祉を実践し、患者様およびご家族の信頼と満足を得ることにより地域の皆様に安心していただける環境の創造を目指します。

テーマ

## 『糖尿病』

## 健康教室のご案内

「糖尿病と脳梗塞・心筋梗塞の関係」

～当院では生活習慣病などを学びたい方のために『健康教室』を開催しています。～

令和2年1月16日(木)  
午後3時30分～

場所：2階図書室

「糖尿病と認知症」

令和2年2月20日(木)  
午後3時30分～

どなたでも自由にご参加できます。(入場無料)